

“貼る”口内炎治療薬です。口腔内ですぐれた付着力をもち、患部を刺激からしっかりカバーし、また、成分が持続的に作用します。

No38 口内炎パッチ大正クイックケア 10枚

指定第2類医薬品



◆「口内炎(アフタ性)」とは・・・

頬の内側や舌、唇の裏側などに、周りが赤っぽく、中央部が浅くぼんだ白っぽい円形の痛みを伴う浅い小さな潰瘍(直径10mm未満)が1?数個できた炎症の総称です。

原因は明確ではありませんが、ストレス、疲労、あるいは栄養摂取の偏りが関与すると言われています。

用法・用量 成人(15才以上)・・・1患部に1回1枚を1日1?2回、患部粘膜に付着させて用いてください

小児(5才以上)・・・1患部に1回1枚を1日1?2回、患部粘膜に付着させて用いてください

5才未満・・・使用しないこと

【注意】

(1)定められた用法・用量を厳守してください。

(2)本剤は溶けません。時間が経つと自然にはがれます。(無理にはがさないでください)

(3)本剤は口腔内粘膜貼付剤ですので、内服しないでください。

(4)痛みが治まったら使用を終了してください。(使用中のものをはがしとる必要はありません)

(5)5才未満の乳幼児には使用させないでください。

(6)5才以上の小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。

(7)小児への使用においては、貼付後、指ではがしとるおそれがありますので注意してください。

(8)もし誤って飲み込んでしまった場合、新しい薬を患部に貼りなおしてください。万が一、症状が変わるなど、不安に思うことがありましたら医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

(9)使用方法をまちがえたと付着しないことがあるので、使用方法をよく読んで正しく使用してください。

(10)本剤を患部粘膜に付着させた後、舌などで強くさわると、はがれることがあるので注意してください。

(11)はがれたものは飲みこまずに捨ててください。

【パッチの貼り方】パッチの裏表に注意してください。

1.うがいなどで患部を清潔にした後、患部の水分・唾液などを軽くふき取ってください。

2.シートからパッチをはがします。シートを少し曲げながらはがすと簡単にはがれます。

3.表側の台紙に付着していないうすい色の面が患部に貼る薬剤面です。(パッチの表裏に注意してください)

4.パッチの裏側の色の濃い面を指先にとります。(この際、指先を少し湿らせておくと、扱いやすくなります)

5.うすい色の薬剤面を患部に軽く押しあて、接するように貼ってください。

6.指で数秒間おさえた後、そっと指を離してください。

・患部が唾液などでぬれていると、つきにくいことがあります。

成分・分量 1枚(1?パッチ)中

トリアムシノロンアセトニド・・・0.025mg

(患部の炎症を鎮め、口内炎を改善します。)

添加物:ポリアクリル酸、クエン酸トリエチル、ヒプロメロース、エチルセルロース、ヒマシ油、酸化チタン、赤色102号

※本剤の主な素材はセルロース類(繊維成分)なので、万一誤って飲み込んでしまっても消化されず対外に排出されます。

区 分 指定第2類医薬品/口内炎治療薬/日本製

ご注意 【使用上の注意】

●してはいけないこと(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は使用しないでください

(1)感染性の口内炎が疑われる人。(医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください)

・ガーゼなどで擦ると容易に剥がすことのできる白斑が口腔内全体に広がっている人。(カンジダ感染症が疑われます)

・患部に黄色い膿がある人。(細菌感染症が疑われます)

・口腔内に米粒大?小豆大の小さな水疱が多発している人、口腔粘膜以外の口唇、皮膚にも水疱、発疹がある人。(ウイルス感染症が疑われます)

・発熱、食欲不振、全身倦怠感、リンパ節の腫脹などの全身症状がみられる人。(ウイルス感染症が疑われます)

(2)口腔内に感染を伴っている人。(ステロイド剤の使用により感染症が悪化したとの報告があることから、歯槽膿漏、歯肉炎等の口腔内感染がある部位には使用しないでください)

(3)5日間使用しても症状の改善がみられない人。

(4)1?2日間使用して症状の悪化がみられる人。

●相談すること

1.次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(3)妊婦又は妊娠していると思われる人。

(4)授乳中の人。

(5)患部が広範囲(患部を本剤でおおいきれない)にある人。

(6)高齢者。

2.使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【関係部位・症状】

口腔内:白斑(カンジダ感染症が疑われる)、患部に黄色い膿がある(細菌感染症が疑われる)

上記の症状のほか、アレルギー症状(気管支喘息発作、浮腫等)があらわれた場合

3.本剤使用後、次の症状があらわれた場合には、感染症による口内炎や他疾患による口内炎が疑われるので、医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

発熱、食欲不振、全身倦怠感、リンパ節の腫脹、水疱(口腔内以外)、発疹・発赤、かゆみ、口腔内の患部が本剤でおおいきれないくらい広範囲に広がる、目の痛み、かすみ目、外陰部潰瘍

【保管及び取扱上の注意】

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

(2)小児の手のとどかない所に保管してください。

(3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)

(4)品質保持のため、開封後の未使用分はもとの袋に入れ、開封口をきちんと折り曲げて保管してください。

(5)使用期限の過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく早く使用してください。

◆本品記載の使用法・使用上の注意をよく読みの上ご使用下さい。

製造販売元 帝國製薬株式会社

香川県東かがわ市三本松567

発売元 大正製薬株式会社

東京都豊島区高田3-24-1

お問合せ 大正製薬(株) お客様119番室

電話/03-3985-1800 受付時間/8:30?21:00(土、日、祝日を除く)